

# 早期景気観測調査

【6-7月期調査結果報告書】

令和7年8月

 甲府商工会議所

## ◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和7年7月22日(火)～8月1日(金)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 67 件
7. 有効回答率 : 58.3 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

### 【6-7月期の動き】

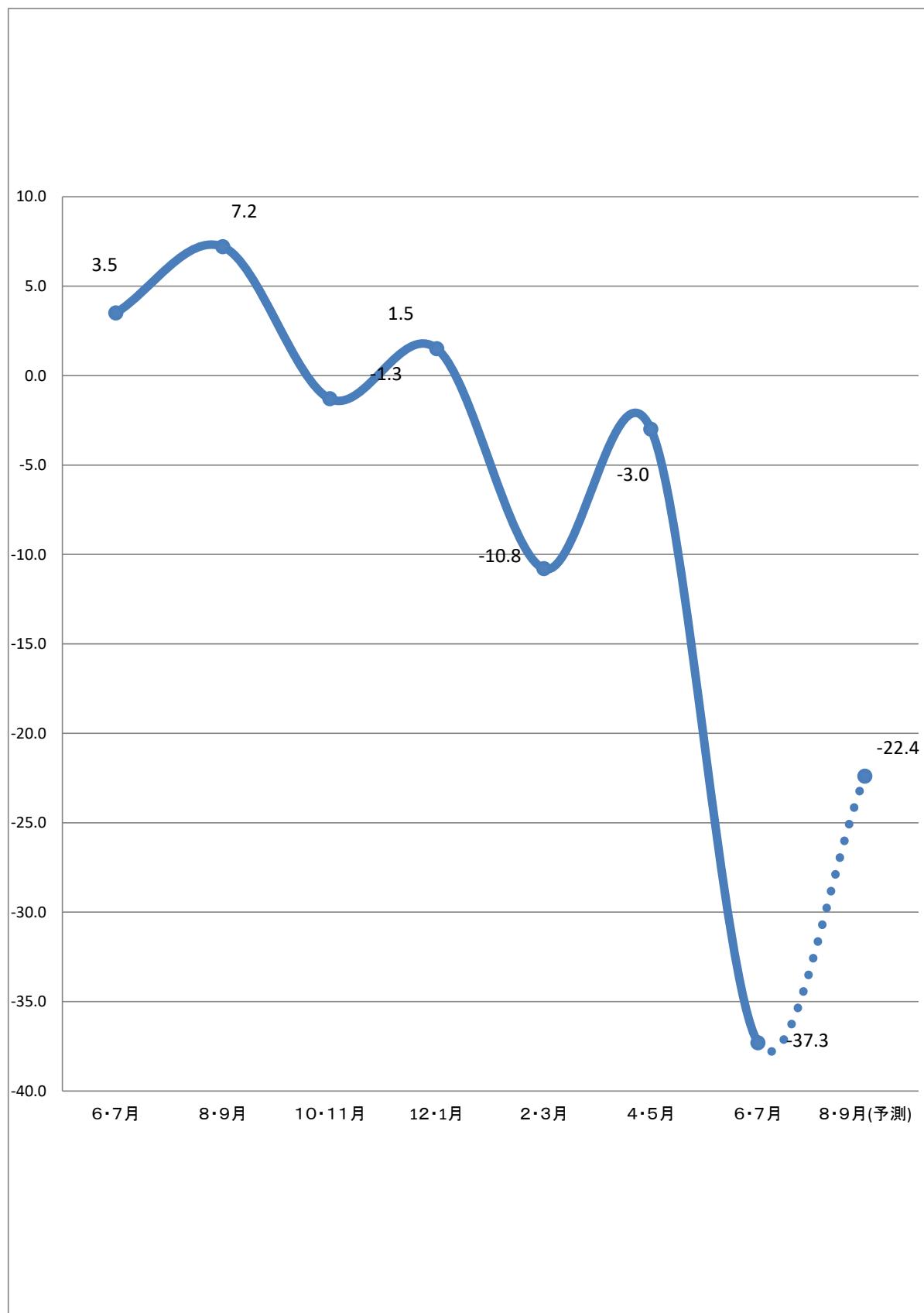
全体業況は ▲ 37.3 と前期と比較し悪化  
売上、採算、仕入単価共に悪化  
向こう3ヶ月の業況は ▲ 22.4 と改善する見通し。

全業種総合の業況DIについて、全業種総合の業況DIは、▲ 37.3（前期比 34.3ポイントの減少）となり、前期と比較し悪化した。従業員DIは 20.9（前期比 3.3ポイント減）と前回と同様若干不足感は解消傾向。仕入単価DIは前期改善傾向であったが全業種悪化。価格転嫁が進んだことで売上が増加した企業も一部存在するが全体的には採算が悪化した。

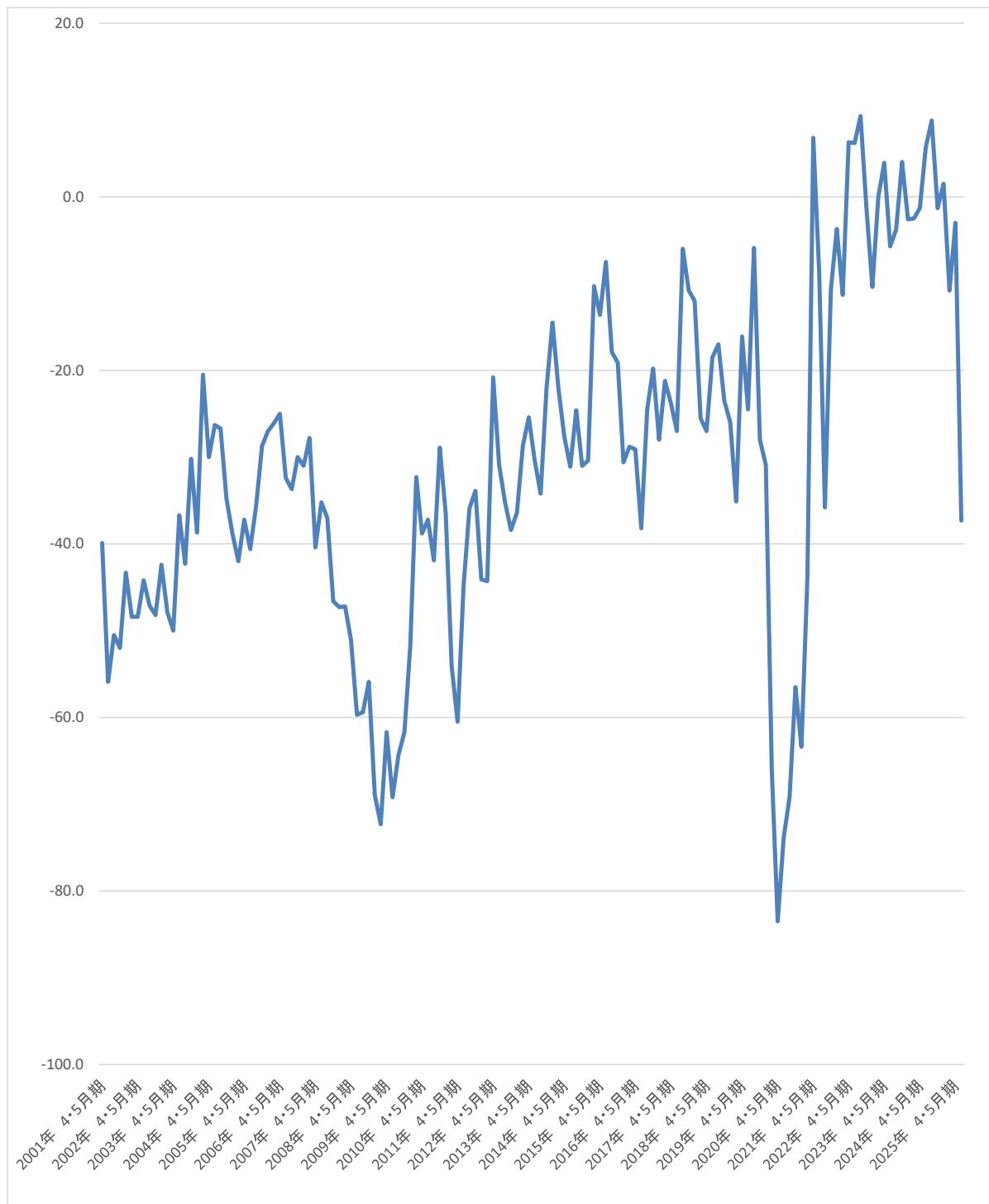
業種別は以下の通り。

- 製造業：業況DI 悪化 ( ▲ 43.8 : 前期比 62.6 ポイントの減少 )  
改善： なし 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI  
不变： 従業員DI 金融貸出しDI  
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 31.3 と改善する見通し。
- 建設業：業況DI 悪化 ( ▲ 35.7 : 前期比 8.4 ポイントの減少 )  
改善： 売上DI 悪化： 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 金融貸出しDI  
不变： なし  
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 28.6 と改善する見通し。
- 卸売業：業況DI 悪化 ( ▲ 38.5 : 前期比 29.4 ポイントの減少 )  
改善： 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI  
不变： 金融貸出しDI  
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 23.1 と改善する見通し。
- 小売業：業況DI 悪化 ( ▲ 38.5 : 前期比 31.8 ポイントの減少 )  
改善： 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI  
不变： 金融貸出しDI  
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 30.8 と改善する見通し。
- サービス業：業況DI 悪化 ( ▲ 27.3 : 前期比 27.3 ポイントの減少 )  
改善： なし 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI  
不变： 金融貸出しDI  
向こう3ヶ月の先行き業況は、 9.1 と改善する見通し。

## 業況DIの推移



(2001年4・5月期～2025年6・7月期)



## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値（景況判断指數）について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

## ◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。  
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

## ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 37.3	▲ 22.4	▲ 31.3	▲ 34.3	▲ 68.7	20.9	▲ 1.5

全業種総合の業況DIは、 **▲ 37.3** (前期比 **34.3** ポイントの減少)となった。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( 4.5 → ▲ 31.3 ) 従業員DI:悪化 ( 24.2 → 20.9 )

採算DI:悪化 ( ▲ 9.1 → ▲ 34.3 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 0.0 → ▲ 1.5 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 54.5 → ▲ 68.7 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 22.4** と改善する見通し。

## ◆業種別

### ○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 50.0	▲ 18.8	▲ 75.0	6.3	0.0

製造業の業況DIは、 **▲ 43.8** (前期比 **62.6** ポイントの減少)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( 18.8 → ▲ 50.0 ) 従業員DI:不变 ( 6.3 → 6.3 )

採算DI:悪化 ( 6.3 → ▲ 18.8 ) 金融貸出しDI:不变 ( 0.0 → 0.0 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 43.8 → ▲ 75.0 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 31.3** と改善する見通し。

### ○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 35.7	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 28.6	▲ 57.1	21.4	▲ 7.1

建設業の業況DIは、 **▲ 35.7** (前期比 **8.4** ポイントの減少)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:改善 ( ▲ 45.5 → ▲ 35.7 ) 従業員DI:悪化 ( 45.5 → 21.4 )

採算DI:悪化 ( ▲ 18.2 → ▲ 28.6 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 0.0 → ▲ 7.1 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 54.5 → ▲ 57.1 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 28.6** と改善する見通し。

## ○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
<b>▲ 38.5</b>	<b>▲ 23.1</b>	<b>▲ 15.4</b>	<b>▲ 23.1</b>	<b>▲ 69.2</b>	<b>38.5</b>	<b>0.0</b>

卸売業の業況DIは、 **▲ 38.5** (前期比 **29.4** ポイントの減少)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( **27.3** → **▲ 15.4** ) 従業員DI:改善 ( **36.4** → **38.5** )  
 採算DI:悪化 ( **18.2** → **▲ 23.1** ) 金融貸出しDI:不变 ( **0.0** → **0.0** )  
 仕入単価DI:悪化 ( **▲ 54.5** → **▲ 69.2** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 23.1** と改善する見通し。

## ○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
<b>▲ 38.5</b>	<b>▲ 30.8</b>	<b>▲ 30.8</b>	<b>▲ 69.2</b>	<b>▲ 46.2</b>	<b>30.8</b>	<b>0.0</b>

小売業の業況DIは、 **▲ 38.5** (前期比 **31.8** ポイントの減少)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( **▲ 6.7** → **▲ 30.8** ) 従業員DI:改善 ( **13.3** → **30.8** )  
 採算DI:悪化 ( **▲ 20.0** → **▲ 69.2** ) 金融貸出しDI:不变 ( **0.0** → **0.0** )  
 仕入単価DI:悪化 ( **▲ 40.0** → **▲ 46.2** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 30.8** と改善する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 27.3	9.1	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 100.0	9.1	0.0

サービス業の業況DIは、 **▲ 27.3** (前期比 **27.3** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( 23.1 → ▲ 18.2 ) 従業員DI:悪化 ( 30.8 → 9.1 )

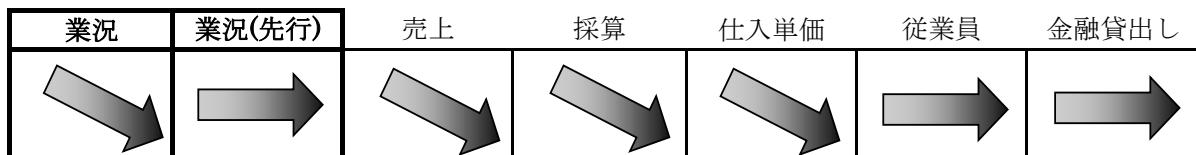
採算DI:悪化 ( ▲ 30.8 → ▲ 36.4 ) 金融貸出しDI:不变 ( 0.0 → 0.0 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 84.6 → ▲ 100.0 )

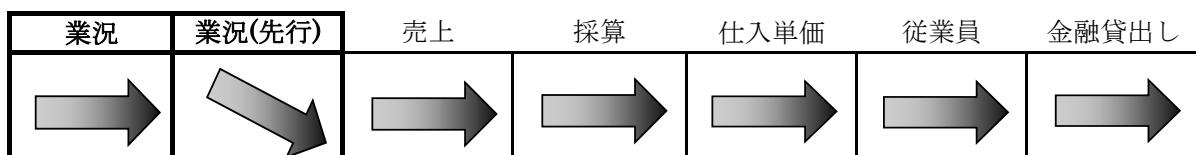
向こう3ヶ月の先行き業況は、 **9.1** と改善する見通し。

## ◆業種別詳細

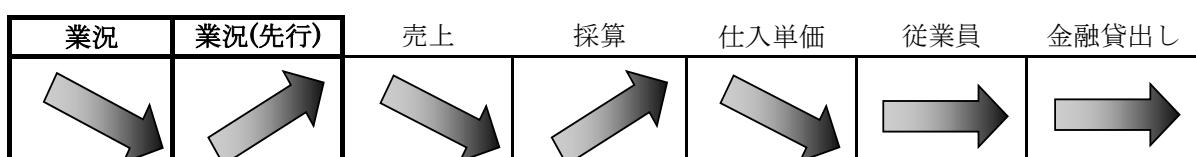
### ○製造業(食品)



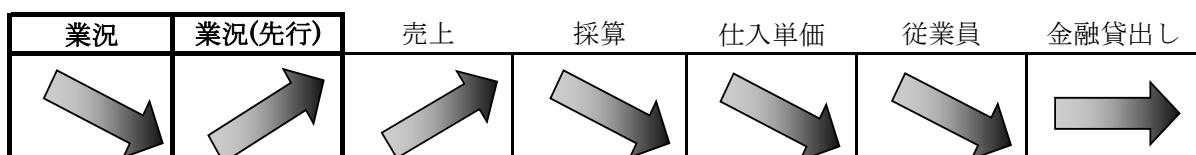
### ○製造業(工業製品)



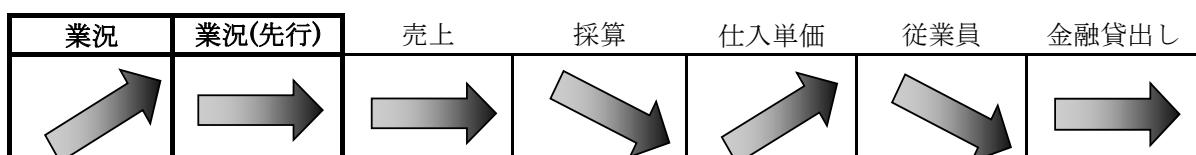
### ○製造業(宝飾)



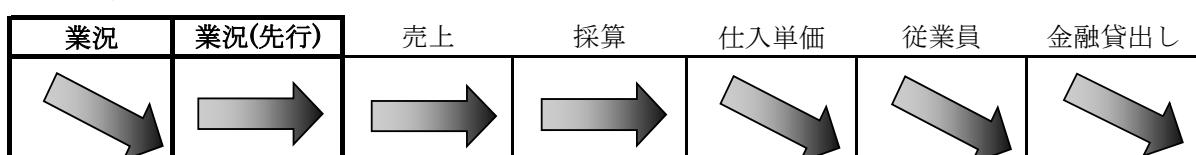
### ○建設業(建築)



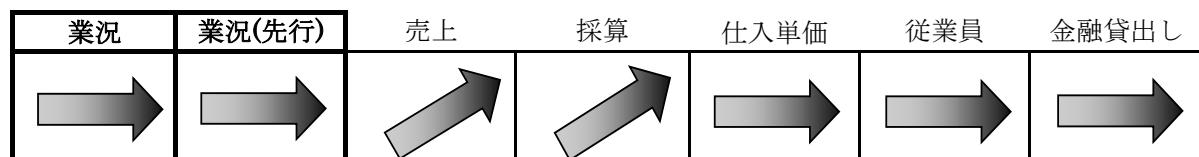
### ○建設業(土木)



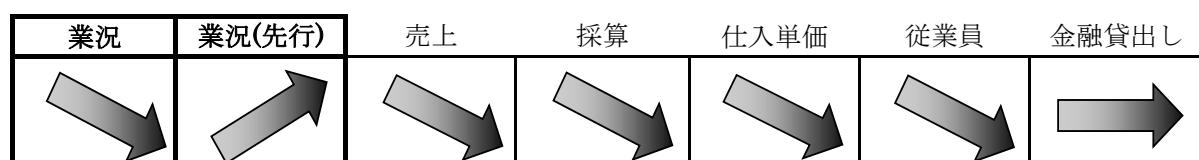
### ○建設業(鉄鋼)



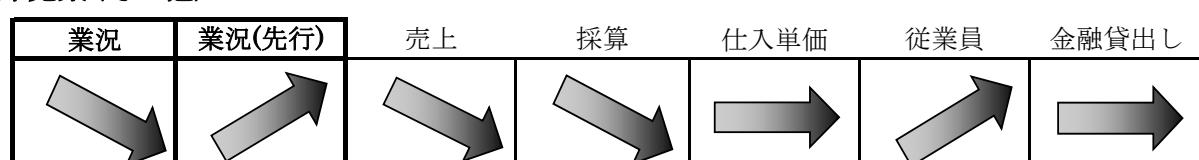
○卸売業(食品)



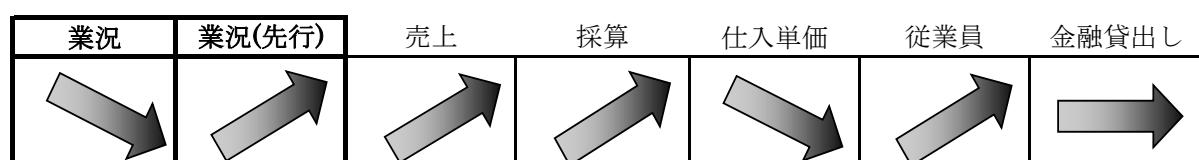
○卸売業(繊維)



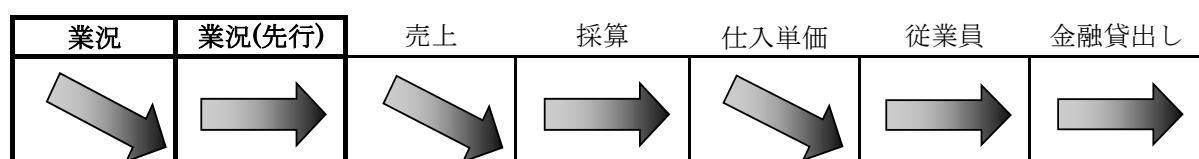
○卸売業(その他)



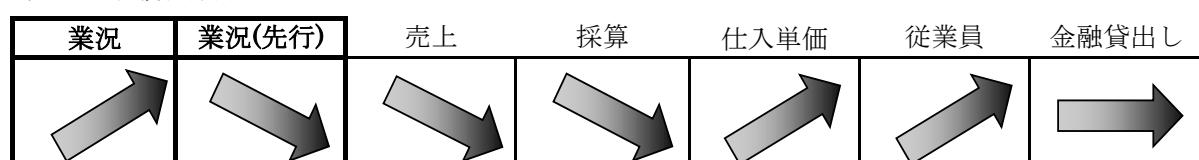
○小売業(大型店)



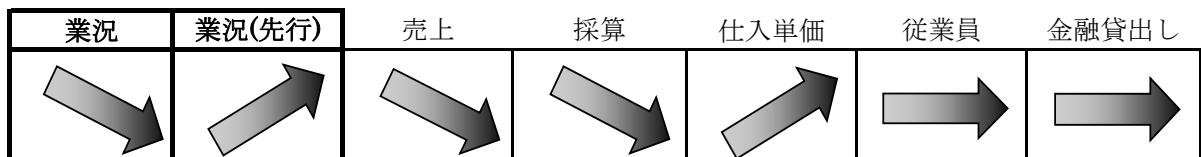
○小売業(食品)



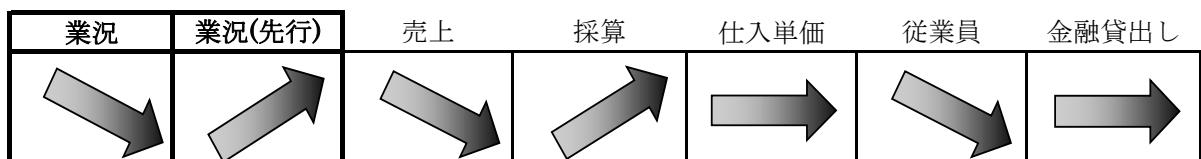
○小売業(事務用品)



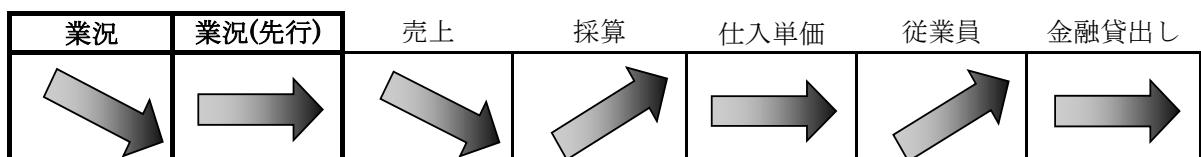
○小売業(趣味・日用品)



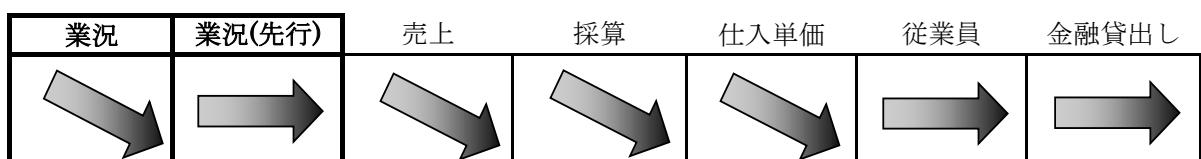
○サービス業(ホテル・旅館)



○サービス業(観光)



○サービス業(飲食その他)



## ◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

### 【製造業】

#### 製造業(宝飾)

- ・卸先である小売店の業績が全国的にも急激に悪化している様子であり、連動して当社の売上も下落している。
- ・材料である地金が高騰していることによる影響が大きい

#### 製造業(食品)

- ・農業政策が業界に大きく影響することが見込まれており、中長期的な戦略が必要である。
- ・毎年取引のある企業の購入決定が遅くなっている。また値上げが進んでおり、販売点数が減少する見込み。
- ・新規取引先への提案をしていくリスクヘッジが必要である。

#### 製造業(工業製品)

- ・売上高、経常利益は前年同様、堅調に推移。今後はトランプ政権による関税の影響と為替レートの動向にもよるが、現時点では8月以降も堅調に推移の見込み。

### 【建設業】

#### 建設業(土木)

- ・職人不足の影響もあるが物価高騰による民間工事の引合いが減少している。
- ・発注者への価格転嫁が進む案件が出てきたが完全ではない。人手不足(若年入職者減少、高齢社員の退職)による生産限度の低下。トランプ関税、参院選与党大敗等今後の状況を見通すことが未だできない。
- ・少なくとも劇的に好転するとは思えない。

#### 建設業(建築)

- ・仕事確保の悩みより人手不足の悩みの方が上位である。この暑さの中建設業界に入職して現場で頑張ろうと思う人が何人いるのか。市場は今後も減ることはなさそうだが、あらゆる計画に支障が出てくる気がする

#### 建設業(鉄鋼)

- ・県内の受注環境は順調に推移しているが他は厳しい状況が続いている。材料人件費は高いまま推移。

### 【卸売業】

#### 卸売業(食品)

- ・6・7月の野菜の状況は天候不順の影響で出荷量が減少、一部高騰が見られた。果実においては酷暑により桃が一部日焼け、着色不良、小玉傾向が見られ出荷量も例年より若干減少傾向。これから旬の葡萄は品種により生産状況に差はあるが順調に生育が進んでいるようで、例年と同等の出荷量が予想される。

#### 卸売業(その他)

- ・全体的に好調も与信面には注意を払ってやっています。

### 【小売業】

#### 小売業(趣味・日用品)

物価高による買い控え、天候不順により厳しい状況が続いている。

#### 小売業(大型)

3月に生鮮が閉店し厳しい状況ではあるが、現状対前年比は99.0%と健闘している。8月以降小江戸甲府祭の屋上イベントや盆踊り、秋の行楽に期待している。6月はパンマルシェ、7月は京都物産展を行った。今後も新たな催事出店の開拓にも努力し、地元店舗を誘致したい。甲府市プレミアム商品券も売り上げの向上に大きくプラスになると考えている。

#### 小売業(家電)

- ・当社は主に電気通信関連の工事(主に下請)と一般電気製品の販売を行っているが、工事関連は元請の状況により大きく変わる。電気製品の販売は売る側も買う側も高齢化により若年層が量販店から買う形になっている。

### 【サービス業】

#### サービス業(観光)

- ・8月以降の夏季シーズンによる観光のお客様の流入を期待。大阪万博開催中に伴うインバウンドの動きにも引き続き期待したい。

#### サービス業(飲食)

- ・夏場は毎日暑い日が続き、来客数が減少すると思われる。また仕入単価の長期にわたる値上げ、人件費の上昇等諸経費が大幅に膨らみ採算的に年々厳しくなっている。